

## 議会ポスト 意見等への回答

作成日：令和6年7月8日

作成者：上越市議会議長

### 寄せられた意見等

議員定数、不信任案決議後の議会の行動について

昨年も議員定数について意見しましたが、改選に間に合いませんでした。地方議員の成り手不足が課題の昨今、定数を大きく超える上越市は恵まれていると思います。一方、人口が18万人を割り込む状況から定数は多すぎと感じます。かと言って、広大な面積の上越、人口だけで定数を定めるのも如何と思います。

任期中の改定ではなく、次の3月定例会、遅くとも次の6月定例会までには目処をつけて貰いたいと思います。

先日の市長不信任案、議会で否決された後に抗議文を出すといった、一連の行為は議会は機能していないと言っても過言では無いと思います。抗議文を出すくらいなら、全会一致で不信任案に賛成すれば良かったのでは無いでしょうか？

また、定例会での質問時の失言なら、何故反問権を行使しないのでしょうか？

こんな事では政治に不信を抱き、失望すると思います。

議会で否決が決まった後に抗議した経緯を市民に丁寧に説明して下さい。

### 回 答

この度は、議員定数などについてご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。

ご指摘のとおり、昨年、当市議会では石田前議長の発意により、議員定数の検討を行い、定数は現状維持とし、検討を継続するとの結論を得たところです。

当職は、この議員定数の調査検討を含め、この間、当市議会でも取り組んでまいりました議会改革をさらに前に進めるため、議長就任後直ちに、上越市議会初となる議会改革を専門に調査研究を行う議会改革推進特別委員会を設置しました。

議員定数は人口という尺度だけで決定できるものではないと当職も思料いたしますが、いずれにいたしましても、市民の皆様のご意見をしっかりと聞きながら検討を進めてまいりたいと考えております。頂戴したご意見についても特別委員会の委員と共有し、議論を深めてまいります。

また、特別委員会では、議員定数の検討のほか、通年会期制の導入やオンライン委員会に向けた環境整備などを先行して検討することとしておりますが、定数についても可能な限り早期に検討を進めてまいります。

次に、去る6月21日に市長に手交した抗議文についてであります。

当職は、地域の多様な民意を背景とした様々な意見を有する個々の議員が、自由闊達な議論の下に、自己の信念に基づいて意見を表明すること、そして、議会としてより一層広い見地から当該様々な意見を集約する中で、地方公共団体の最終的な意思を決定していくことが議会の本質であると理解しております。

ご指摘の問責決議につきましても、個々の議員がその信念に基づいて賛否の立場を決定し、表明した結果の積み重ねであり、当職は、議事を整理するという立場から、その結果について受け止め、最大限尊重すべきと考えております。

一方で、ご指摘の発言により関係する方々を傷つけ、市政を真摯に議論すべき議場を混乱させ、審議を遅滞させたこと、また、その後も同様の失言を重ねたことについて、市長には大いに責任があるものと考えております。当職は、議場の秩序を保持する責務を負い、議会を代表する立場に就いており、こうした立場からは当該発言が見過ごせないものとなっていることを踏まえ、抗議文について当職から発案させていただき、議会運営委員会や各派代表者会議において賛同を得ながら、市長に対し手交を行ったものであり、ご理解いただきたいと思います。

ただ今ご説明申し上げました抗議を行った理由につきましては、概略を抗議文に記載しております。ホームページにて公開しておりますので、ご高覧いただけますと幸いです。

最後になりますが、反問権とは、会議において議員又は委員の質問又は質疑の趣旨、内容、背景、根拠、考えなどを確認するため、市長等が議員又は委員に質問することができる権限のことをいい、議員が行使することはありません。

今後も当市議会は、市民の皆さんの声を積極的にお聴きし、議会の責務を果たしてまいります。